

軽井沢 RESORT CONCERT

歴史的文化遗产で聴く リゾートコンサート

旧雨宮邸ギャラリー蔵 KURA 軽井沢町大字長倉2112-21 離山公園内
TEL0267-45-8695(平日のみ)

9月8日[日] 出演：竹内遥香 (ハープ)
14:00 ~ 14:30

曲目：ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル：シャコンヌ、滝廉太郎：荒城の月
黛敏郎：ROKUDAN、ロバート・マックスウェル：引き潮

堀辰雄文学記念館 HORI TATSUO 軽井沢町大字追分662
TEL0267-45-2050

9月15日[日] 出演：田中美恵子 (ヴァイオリン・ヴィオラ)
尾尻雅弘 (ギター)
13:30 ~ 14:45

曲目：ロベルト・ディ・マリノ：ミロンガ、夕暮れ、ビル・ドピンズ：「夜の組曲」より 他
※13:30 ~ 軽井沢図書館朗読ボランティア「オオルリ」との共演

重要文化財 旧三笠ホテル MIKASA 軽井沢町大字軽井沢1339-342
TEL0267-42-7072

10月14日[月] 祝日 出演：浅間山重奏
加藤美菜子 (ヴァイオリン)
11:00 ~ 11:30 (1回目) 加藤皓平 (チェロ)
14:00 ~ 14:30 (2回目) 安田亜美 (ピアノ・チェンバロ)

曲目：千住明：NHK大河ドラマより「風林火山」、コズマ：ジャズナンバーより「枯葉」
ピアソラ：天使の詩、ドヴォルザーク：スラヴ舞曲op.46 no.2 他
※チェンバロの音色もお届けいたします。

10月19日[土] 出演：杉原桐子 (ヴァイオリン)
小野恵美 (チェロ)
11:00 ~ 11:30 (1回目) 尾尻雅弘 (ギター)
14:00 ~ 14:30 (2回目)

曲目：アストル・ピアソラ：ミロンガ、プエノスアイレスの夏 他

追分宿郷土館 OIWAKE 軽井沢町大字追分1155-8
TEL0267-45-1466

10月26日[土] 出演：軽井沢御神楽保存会
追分節保存会・追分節隊
10:00 ~ 12:00 大浅間火煙太鼓保存会

料金それぞれ 400円



旧雨宮邸ギャラリー蔵



堀辰雄文学記念館



重要文化財 旧三笠ホテル



追分宿郷土館

問い合わせ：各施設へ (期間中無休8:30~17:15)

主催：軽井沢町教育委員会 TEL0267-45-8695

企画制作：公益財団法人軽井沢大賀ホール

※曲目・内容は変更になる場合がございます。

本事業は宝くじの助成を受けて実施しています。



9/8(日) 旧雨宮邸ギャラリー蔵



竹内 遥香 (たけうち はるか) / ハープ

東御市出身。昭和音楽大学卒業。これまでにハープを原口久子、山崎祐介の各氏に師事。

第68回長野県植樹祭アトラクション演奏、信州国際音楽村ルネッサンス2017ファミリーコンサート、安曇野高橋節郎記念美術館 企画展「夜のミュージアム」ソロコンサート、アートメントNAGANO2018「善光寺de音楽数珠つなぎ」、長野駅開業130周年記念「30分の演奏会」、かやぶき倶楽部実行委員会主催のハープリサイタルに出演。主に県内でソロ、アンサンブル、オーケストラ、吹奏楽等の演奏活動を行う傍ら、後進の育成にも力を注ぐ。長野県若手芸術家支援事業「next」登録アーティスト。

9/15(日) 堀辰雄文学記念館



田中 美恵子 (たなか みえこ) / ヴァイオリン・ヴィオラ

武蔵野音楽大学ヴァイオリン専攻卒業。大学在学中、ヨーロッパ研修演奏旅行に選抜参加。1993年 NTT新人演奏会に出演。同年より

都内の主要プロオーケストラの演奏要員としてフリーランスで出演する傍ら、長野県内で ensemble NOVA オーケストラ、軽井沢アマデウス・バンドのヴァイオリン奏者として活動。2016年5月に、モーツァルトの『魔笛』をクラシックギターとヴァイオリンのトリオでCDをリリース。軽井沢ファミリーオーケストラ弦楽器トレーナー。日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門審査員。ヴァイオリンを室谷高広、ヴィオラを故・ウルリッヒ・コッホの各氏に師事。



尾尻 雅弘 (おじり まさひろ) / ギター ※10/19(土)も出演

パークリー音楽院にてジャズ・ギターを学び、その後マンハッタン音楽学校にてクラシック・ギターを学ぶ。在学中、第5回GFA

国際ギター・コンクール、第29回パリ国際ギター・コンクールにて第3位、及びアンドレス・セゴビア賞を受賞。1992年、日本フィルハーモニー交響楽団との『アランフェス協奏曲』で日本デビュー。CDはボニー・キャニオン、オクタヴィア・レコードなどから多数リリース。近年は軽井沢アマデウス・バンド『魔笛』『フィガロの結婚』ギター室内楽集』やフルーティスト・横本吉雄氏との『マウンテン・ソングス』をリリースしている。

10/14(月・祝) 旧三笠ホテル



加藤 美菜子 (かとう みなこ) / ヴァイオリン

東京音楽大学卒業、同大学院修了。2013年、2014年と勉強のため夏は渡仏、Christophe Quatremer氏に師事。Fugato

academy festival 2013にて第3位入賞。弦楽アンサンブル「まちかど室内楽団」コンサートマスターとして、埼玉県で演奏活動を行う他、ピアノトリオ「浅間山重奏」としても長野県と埼玉県で活動中。バンド『Blue☆Rose』のライブ及びCD録音に参加。オーケストラ・トリプティーク、東京室内管弦楽団ヴァイオリン奏者。



加藤 皓平 (かとう こうへい) / チェロ

東京音楽大学卒業。同大学給費特待生。卒業後は室内楽や、

プロオーケストラで研鑽を積み、室内楽奏者としてサントリーホール25周年記念、軽井沢大賀ホール主催公演等に出演。チェロを宮田豊、清野佳子、故・鷹栖光昭、菊田雅治、ドミトリー・フェイギンの各氏に師事。2016年9月より、山形県尾花沢市地域おこし協力隊に就任。翌年10月、同市内に住宅を購入し、定住。2018年3月、地域おこし協力隊を退任。現在、山形県と東京都内で演奏活動をしなが、東京室内管弦楽団のチェロ奏者を務める。



安田 亜美 (やすだ あみ) / ピアノ・チェンバロ

愛知県立明和高等学校音楽科卒業。東京音楽大学ピアノ演奏

家コース卒業、同大学院伴奏科修了、三年間同大学で伴奏助手を勤める。その後渡仏、パリ地方音楽院伴奏科を審査員満場一致で卒業。これまでに、清水皇樹、村上隆、岡田敦子、御邊典一、土田英介先生、アリアヌ・ジャコブ、アンリ・バルダの各氏に師事。現在はこれまでの経験を活かし伴奏活動、後進の指導に当たっている。

10/19(土) 旧三笠ホテル



杉原 桐子 (すぎはら きりこ) / ヴァイオリン

仙台市出身。宮城学院女子大学音楽科卒。2004年に軽井

沢へ移住後は ensemble NOVA のコンサート、日本モーツァルト愛好会例会や軽井沢リゾートコンサート等に出演し、2012年にはリサイタル『Statue』を開催。2016年軽井沢アマデウス・バンド『魔笛』『フィガロの結婚』ギター室内楽集』のCDをリリース。朗読とのステージや、ライブペインティングでの演奏を担当した事などをきっかけに、様々な表現とのコラボレーションなどにも興味を持つ。信州の大自然から様々な刺激を受け、現在は軽井沢を中心に演奏活動をおこなっている。



小野 恵美 (おの めぐみ) / チェロ

群馬県桐生市出身。桐生女子高校を経て、高崎芸術短期大

学を優秀賞を得て卒業。在学中よりレオニード・グルチン氏に師事。在学中ブラハに渡りブラハ音楽院教授ブラドン・コチー氏、ピーター・プラウゼ氏のもと研鑽をつむ。卒業後も数度渡欧、ウィーン国立音大教授シュテファン・クロブピッチ氏に師事。アントンヴェーベルン夏期講習会に参加、選抜者による修了コンサートに出演。2002年、日本ネパール音楽協会よりカトマンズに派遣され、ネパール音楽学校の設立に携わり、講師をつとめる。

10/26(土) 追分宿郷土館

軽井沢御神楽保存会 (かるいざわおかぐらほぞんかい)



神楽とは、人々の穢れを祓ったり、神懸かりのための儀式として人々と交流するなど神人一体の宴の場であり、そこでの歌舞が神楽と呼ばれるようになったとされています。

氏子や崇敬者の無病息災・家内安全・福德招来・延命長寿を祈願し奉納されます。昔は御神楽を舞う例祭に参加するために遠方より参列する人もいたほど有名でありました。特に熊野皇大神社の由緒記に伝わる八咫鳥の姿に扮し舞う「からすの舞」が一番の特徴で、からすときつねがまじり合う姿が優美で独特です。

伝統あるこの舞を絶やさぬよう、後世に舞をつないでいけるよう結成した保存会です。

追分節保存会 (おいわけぶしほぞんかい)



「追分節」は江戸時代に中山道の宿場であった追分宿で発祥し、全国に広まった伝統芸能です。現在の

「追分節」は、「追分馬子唄」と「信濃追分」を合わせたものが「追分節」と呼ばれています。「追分馬子唄」は江戸時代の追分宿の脇本陣である「油屋」で伝承された唄で、馬の蹄の擬音と鈴の音をつけた比較的シンプルなものであり、一方「信濃追分」は「油屋」

に次ぐ大きな旅館であった「永楽屋」で伝承された唄にお囃子、三味線、太鼓、さらには踊りをつけた賑やかなものとなっています。

昔の人達の生活は決して華やかなものではありませんでしたが、「追分節」がいまでも唄い継がれてきたのは、古い宿場で唄われた民謡で、当時の宿場の飯盛り女や馬子がどのような気持ちでこの唄を唄っていたのかなど、昔の様子を思い浮かべて唄うことにより聴く人の心に響き、多くの感動に繋がるものであるからだと思います。積み重ねた歴史の中で、「追分節」が素晴らしい文化遺産として今後も唄い継がれていくことを願い活動しています。

大浅間火煙太鼓保存会 (だいあさまかえんだいこほぞんかい)



「大浅間火煙太鼓保存会」は、昭和60年の小諸城築城五百年の記念事業として、小諸市・小諸商工会議所・小諸市観光協会・小諸青年会議所等が中心となり、多くの市民や企業の皆様方のご協力を得て設立された団体です。

大浅間火煙太鼓は、小諸の風物詩として育てられ、厳しく激しい活火山浅間山の霊と、清き千曲川の流れをいただき、戦国動乱の激闘を勇壮にうたいあげ、日本の太鼓のもつ「技・響き・唸り・轟き・舞い」といった魅力を最大限に表現するものです。打ち手の「技」を錬磨し、心に「響」く太鼓を、「舞」うがごとく打つ動きの躍動感あふれる豪快なパチさばきをご覧ください。